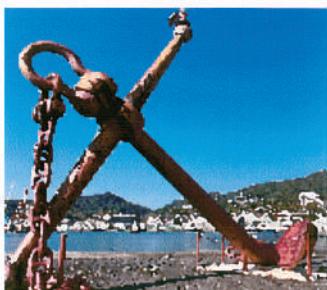


体验！長崎開港450周年

～歩くほどわかる長崎の魅力～



巨大アンカーホースから港を一望することができる。長崎グラバー園などです。

四五〇年を迎える長崎港。今年で開港

教室などに参加しました。また、私たちは課題研究で水中ロボットの製作をしているので併せてそれについても紹介します。

長崎港の巨大アンカーハーは港の眺め抜群のウッドデッキ上にある高さ2m30cmで大正時代に製造されたものです。写真映えするので家族

る伝説を持つてゐるため、ベースボールとしても人気があります。大切な人と訪れてみてはどうでしょう。

VR×クーバ体験

長崎工業高 校新聞 造船高 校

第5号
長崎工業高校
機械システム科
松尾山宮地本

長崎県庁展望台からの景色



長崎港の巨大アンカーは港の眺め抜群のウッドデッキ上にある高さ2m30cmで大正時代に製造されたものであります。写真映えするので家族や友達と訪れて思い出の記念にしてみてはいかがでしょうか。次に紹介するのは旧香港上海銀行長崎支店記念館です。一九〇四年建築の国指定重要文化財で、市内に存在する最も大きな石造りの洋館です。長崎の歴史を知ることができとても勉強になります。私たちが訪れた時には孫文・梅屋庄吉友情月間ということで入館料が無料で最後にはストラップを貰うことができました。最後に紹介するのはグラバー園です。南山手に

る伝説を持つているため、バースポットとしても人気があります。大切な人と訪れてみてはどうでしょう。

ほかにも沢山のスポットを回りスタンプを15個集めることができ、長崎開港四〇周年を記念したバッケンを貰うことができました。色は4色あり自分の好みの色を選ぶことができます。

私はこのデジタルスタンプラリーを通して長崎港周辺の歴史などを楽しみながら

VRスクーバ体験

あり観光施設として全国的に知られています。数々の歴史的建造物があり、展望台からは稻佐山をバックに長崎港を見渡すことができます。園内にはハートス

VRスクーバ体験



VR体験中



ゴーグル内の風景



長崎開港四百五十周年記念ポスター

The image is a composite of two photographs. On the left, a person wearing a VR headset and holding a controller is standing in front of a large, textured wall that looks like a cave or rock formation. On the right, a real-world photograph shows a car driving on a road with mountains in the background under a clear blue sky.

組立式ROV教室に参加して

十月十七日（日）に開催された「海中探査ロボットで長崎の海をのぞいてみよう組立式ROV教室」に長崎総科大の大学生の方と共に小学生のロボット組立て補助員として参加しました。教室では、現在の環境汚染問題を学んだ後、小学生とROV水中ロボットを一緒に作って実際に海の中を見ました。そして最後に今、伊王島が取り組んでいる海問題について

海と海のゴミの話

世界の海洋汚染は主に越境ゴミ問題でこれは国外か

らの流れてくるゴミによる問題のことです。なぜこれが起るのかというと、太洋と大西洋では太陽の熱

によって温められ対流が起

り流れができるてしまい、

その流れに乗ったゴミがハ

ワイへと流されます。長崎

の対馬でも同様のことが起

つております。例え左の写真

のよう写っている発泡ブ

ラスチック製のパイは80

年、プラスチック製のペットボトルは450年、ガラス製のペットボトルでは一

〇〇万年も溶けるのにかかっています。また、

プラスチックの生産段階で

出た破片と劣化して粉々に

なり、それぞれ5mm以下

に海に入れてみると、まく動いて海の中を見ることが

でき、喜んでいたので手伝いをしてよかったです。

つぎに、ROV水中ロボット製作では塩化ビニール製のパイプ、モーター、

ボット製作では塩化ビニ

ル製のパイプ、モーター、

プロペラ、カメラを使って水中ロボットを作る手助け

をしました。最初は小学生

がそれぞれ自分で自分の思う水中ロボットの構想を練つて

いました。その中でも完成度が高い作品をみんなで協

力して作ることになり、最

後にはガッチャリとしたもの

が完成しました。私が手伝

いをする中で一番大変だつ

たのは小学生たちとのコミ

ニケーションです。一人

ひとり作りたい形が違うの

話を聞いて一緒に考える

のに少し苦労しました。完

成した水中ロボットを実際

に組み立てるところが

とても大変でした。

しかし海水を採取する機能を試作し

ました。が海水を採取

した後に保持する機能の弁の強度

が足りず、水没してしまいました。

また、海水をためるスペースが作れ

ました。が海水を採取